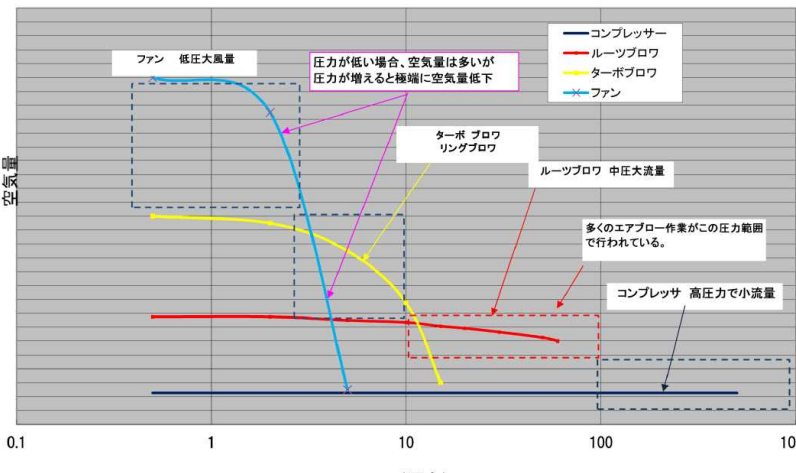


対 策 名	ルーツブロウの使用
対 策 タ イ プ	設備導入
対 象 業 種	共通要素設備
対 象 工 程 等	ブロウ
対象技術の概要	<p><b>【目的】</b>  工場でコンプレッサーが多数使用されているが、水滴の除去、切粉の除去、紙のさばき等 10～100kpa 程度の圧力ではルーツブロウを使用した方が省エネになる。</p> 
	<p><b>図1 特性比較（圧力と空気量）※</b></p> <p>&lt;参考&gt;  省エネ法の判断基準でも下記の記述がある。</p> <p>II エネルギーの使用の合理化の目標及び計画的に取り組むべき処置</p> <p>1 エネルギー消費設備等に関する事項</p> <p>(5) 電気使用設備</p> <p>⑦ エアーコンプレッサーを設置する場合において、小型化し、分散配置することによりエネルギーの使用の合理化が図れるときは、その方法を検討すること。また、<b>圧力の低いエアの用途には、エアーコンプレッサーによる高圧エアを減圧して使用せず、低圧用のブロウまたはファンの利用を検討すること。</b></p>

**【概要】**

**○用途**

コンプレッサーとブロワを比較するとブロワの方がブローエリアが広く、エアーの流量は多いが、全体としての衝突力が同じなら同じ効果を生む、そのような用途に適している。

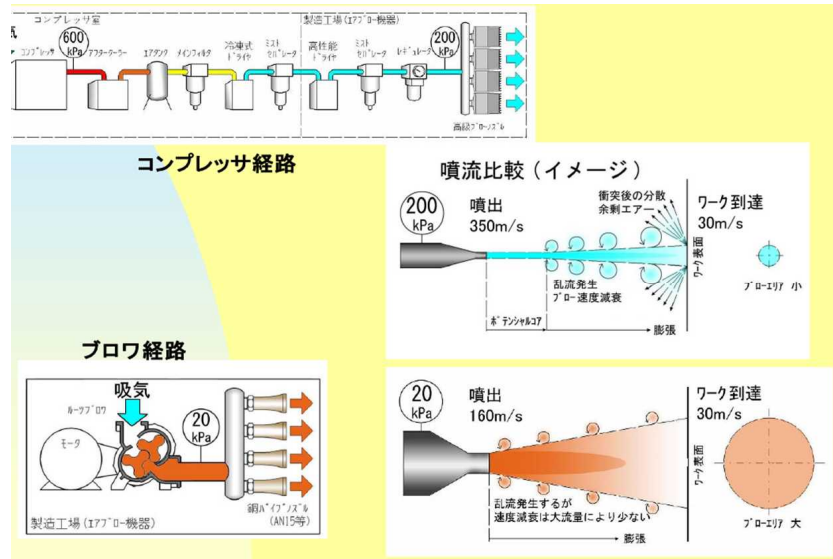


図2 コンプレッサーとブロワの比較 (イメージ) ※

**○導入手順**

- ①導入ラインの選定  
連続ブローか断続ブローか
- ②使用ノズルの調査
- ③試行実験  
実際にデモ機等で試験し、ブロー品質を確認する。
- ④省エネ効果計算、回収計算
- ⑤実際の導入

**○効果**

消費エネルギーが 1/3 程度になった報告がある。 ※

**実施上の留意点**

- 事前にメーカーのデモ機等で試験し、ブロー品質を確認する。
- 工場内には既存のエアーコンプレッサーの工場エアーが設置されている場合、ブロワの用途が一定量あり設置場所が使用場所の近傍である必要がある。

出

典

※株式会社 アンレット資料